



CONTENTS

- 1頁・盛り上がった 第27回 ふれあい祭り!
 2頁・夏の想い出
 ・夏の風物詩 流しそうめん
 3頁・新聞にも取り上げられました!
 ・周年記念コンサート開催
 4頁・九州北部大雨災害義援金
 ・ふれあいの里「秋の作品展」開催決定

第116号 ふれあいの里
 〒632-0001 天理市中之庄町470 TEL.0743-65-1771(代)

発行責任者: 鉄村 信治

編集: ふれあいの里広報委員会

<http://www.fureai-net.com/>

盛り上がった 第27回 ふれあい祭り!!

今年もたくさんの笑顔にお会いすることができました!

天候にも恵まれ、委員長として5年目にして初めて雨の心配の無い祭りとなりました。祭り当日未明、打ち水のように降った雨のおかげで日中もさほど気温が上がらず、気持ちのいい夏晴れの日となりました。

抽選券の発行枚数は832枚で、今までの祭りの中で最も多い発行枚数でした。

今年の模擬店は「チヂミ」が無くなった代わりに、新たに「お好み焼き」「揚げたて焼き」「ポップコーン」「わたがし」「クレープ」を出店し、毎年好評の「焼き鳥」も値下げをして、お客様を待ちました。長蛇の列ができる模擬店も多数あり、お買い求めいただくのに長時間お待たせしてしまったことを申し訳なく思っ



ております。また今年も子どもさんにめいっぱい楽しんでもらおうと、「射的」や「あてもの」にもさらに力を入れました。毎年恒例の抽選会も多くのお客様にお土産を持って帰っていただくことができて良かったと思います。

ステージショー、ダンス、踊りに今年も多彩な豪華ゲストにお越しいただき、祭りを大いに盛り上げてくださいました。

6月から少しずつ練習をはじめた、奈良東病院グループの「ふれあい連」も当初はどうなることやら、と不安を感じておりましたが、本番は見事な踊りを披露してくれ、盛り上がりは最高潮に達しました。

事故や怪我も無く、今年も無事に奈良東病院グループの夏の一大イベントを終えることができました。多くの方に支えていただき、協力していただいたおかげと、この場を借りてお礼を申し上げます。

来年の祭りも今年以上に楽しんでいただけるよう、早速今年の問題点の洗い出しをはじめております。来年も多くの方にお目にかかれることを楽しみにしております。

本当にありがとうございました。

(第27回 ふれあい祭り実行委員会 委員長 森本 真司)

健和会理念

私達は、医療がサービス業であることを認識し、以下の目標を掲げる。

- 1・患者さん中心の医療・看護・介護
- 2・地域社会への貢献
- 3・研究心と向上心を持つ
- 4・和を尊ぶ

健和会基本方針

- 1・私たちふれあいの里の職員はいつも患者さんの意思を尊重し権利を遵守して、患者さん中心の医療、看護、介護を実践します。患者さんのADL(日常生活動作)改善とQOL(生活の質)向上のため、積極的にリハビリテーションに取り組みます。
- 2・私たちは、他の医療機関や地域の人々と連携して地域社会に貢献し、社会に開かれた施設を目指します。
- 3・私たちは患者さんから学ぶという初心を忘れず、より良い医療、看護、介護を提供できるように常に研鑽し探究する精神を持ち続けます。
- 4・私たちは力を合わせてチーム医療の遂行のために努力します。

夏の思い出



エバーライフでは、暑い夏を元気に乗り切っていただくため、毎年恒例の縁日と納涼花火大会を行いました。

まずは、梅雨明けした7月18日に縁日を行いました。ネギ焼き・アイスクリーム・ヨーヨー釣り・射的・当て物などなど、入居者様は、昔を思い出されたのか笑顔が溢れていました。

夏の暑さで食欲が無くなっておられた方も「おいしい、おいしい」とネギ焼きを召し上がり、冷たいアイスクリームをおかわりされる方もいらっしゃいました。

ヨーヨー釣りの水風船をシルバーカーや歩行器に付けておられたり、当て物で当たった景品をすぐに使用されている方もいらっしゃいました。

射的では、大きな的を狙わず、大当たりの小さな的を狙い、

見事に大当たりを出される方が続出し、チリン、チリン、と鐘が鳴り響くと大きな拍手が起こりました。

次に花火大会を8月24日に行いました。午前中の強い風が止み、心待ちにされた入居者様の中には早くから外に出られる方やロビーでお待ちくださる方もいらしたりし、職員も力が入りました。

ビールなどのお飲み物をお渡ししていると、外はすっかり暗くなりました。「ただいまより花火大会を始めます。打ち上げ花火が上がりましたら、たまや～、かぎや～と掛け声をお願いします!」という開会宣言直後、最初の花火がヒュ～! パン! パラパラ! と見事に上がり、大勢の入居者様の「たまや～、かぎや～」や「きれいやな～」という歓声や拍手が湧き起こりました。



ラストのナイアガラの花火は例年より長く火花が出ていたので、職員もジッと見とれてしまうほどでした。

入居者様からは「ありがとう」というお言葉を頂き、ひと夏の思い出となりました。

(エバーライフ サービス課 岸田 泰子)

夏の風物詩 流しそうめん



梅雨も明けた7月20日、毎年恒例行事・流しそうめんを行いました。

流しそうめんを使用する竹は、早くからサプライサービス課に依頼して作っていただき、だし汁や錦糸卵などの薬味は厨房の方をお願いして作っていただきました。

当日は雨の心配もなくよく晴れ、心地よい風も吹き、とても良い日になりました。

流れてくるそうめんを見ると皆さん箸を伸ばし、勢いよくすくっておられました。

中には、ご自身の器の中にそうめんが入っていても流れてくるそうめんをみると、箸を入れてすくっておられる入居者様もいらっしゃいました。また、普段食事量の少ない方も、流しそうめんの時は流れてきたそうめんをとておいしそうに食べておられました。あまり行事に参加されない入居者様も参加くださり、「おいしかったよ!」と声をかけてくださいました。

暑い日が続いていましたが、ほんのひと時、流しそうめんて涼しさを感じていただけたことが入居者様ひとり一人の笑顔から感じる事ができました。また来年も全ての入居者様に楽しんでいただけるように計画していきたいと思ひます。

(ケアハウス ふる里 飯降 誉子)



新聞にも取り上げられました!

グループホームふれあい東九条はオープンから13年を迎えました。

当施設より今年の春から注目を浴びた3種類の花をご紹介します。

1種類目はオープン当初に頂いた観葉植物で、元気に育っているパキラです。中国では「発財樹」といわれ、「お金を生み出す木」として大変重宝がられているそうです。「快活」「勝利」などの花言葉を持ち、とても縁起のいい木だそうです。13年目にして挿し木をした株が花芽をつけ開花しました。花をつけるのはとても珍しいと知り、新聞社に声を掛け、奈良新聞に掲載されました。その時の記事をもとに入居者様のご家族がパネルにしてくださいました。咲くことが珍しい、一度咲



くと来年も咲く、結実すると種から植える事が出来ると知り、感激しています。おひとりずつ記念撮影をし、口々に「こんな花見たことないわ」などの会話で盛り上がりました。来年も咲くことを楽しみにしています。

2種類目は「桜ラン」です。「人生の出発」「門出」などの花言葉があるそうです。ご近所からの頂き物なのですが、今年は次々と花を咲かせています。クスダマのように花をつけ、花弁は繊細工のようで、「ブローチや髪飾りにできるね」と入居者様の笑顔が弾んでいます。

3種類目はトケイソウ(パッションフルーツ)です。時計のような大きな花が咲き、人工授粉で結実し、熟してくると紫色になり食べ時となります。そのまま食したり、ジュースにして香りを楽しむ事もできます。

3種類とも挿し木で増やす事が出来ます。ご興味のある方は是非、グループホームふれあい東九条にご来館ください。

お待ちしております。

(グループホーム ふれあい東九条 館長 松尾 夫美子)



1周年記念コンサート開催

介護付有料老人ホームやまとは、今年4月に開設1周年を迎えることができました。

日頃からご支援くださった皆様への感謝の意を込め、7月5日に、プロソプラノ歌手の岡田由美子さんをお招きして、やまと1周年記念コンサートを開催しました。岡田さんは復興コンサートや奈良の文化交流に尽力されている有名な方で、奈良新聞社からも取材にられました。

当日は入居者様をはじめ、ご家族様や他施設の入居者様、岡田さんとのご縁をつないで下さった作遊所かかしの家の方々等、総勢60名以上の方が聴きにきて下さいました。

1曲目、岡田さんの代表曲の1つ「やまとしうはし」を歌い出されると、華麗な歌声に皆一気に魅了され、中には涙ぐむ方もいらっしゃいました。岡田さんが観客席を回られ、マイクを差し出されると、入居者様も、事前にお配りした歌詞を見ながら、聴き慣れた歌と一緒に口ずさんでいらっしゃいま



た。10曲以上絶え間なく歌って下さり、あっという間の1時間でしたが、透き通った素晴らしいソプラノで会場全体が一つになり、癒しのひとときになりました。

(介護付有料老人ホーム やまと 古谷 充方子・小谷 安佐子)

『九州北部大雨災害義援金』へのご協力ありがとうございました

平成29年7月5日から6日にかけて、福岡県・大分県を中心とする九州北部地方において局地的大雨による甚大な被害が発生しました。

河川の氾濫、土砂崩れ等により特定地域が孤立状態となり避難を余儀なくされ、たくさんの方が被害に遭われましたこと、心よりお見舞い申し上げます。

私たち奈良東病院グループとして何か力になれる事はないかという思いから、『九州北部大雨災害義援金』の呼びか

けを各施設にて行い、患者様・利用者様をはじめ、ご家族様・職員より集まった義援金は、8月4日に日本赤十字社を通じて被災地へ送らせていただきました。

今も自宅へ帰る事ができず、仮設住宅に住んでおられる方々の一日でも早い復興を心より願っております。

(奈良東病院 事務室 村島 伸子)



毎年恒例
皆で楽しむ

『ふれあいの里 秋の作品展』



今年で11回目を迎える『ふれあいの里 秋の作品展』開催が決定! ご家族様・職員も毎年楽しみにしている作品展。ふれあいの里利用者の皆様からのたくさんのご応募を心よりお待ちしております。



第10回 ふれあいの里 秋の作品展

〈展 示 日〉 11月1日(水)～11月30日(木)
 〈展示場所〉 奈良東病院内 渡り廊下(予定)
 〈申込期間〉 10月3日(火)～10月18日(水)
 〈応募資格〉 ふれあいの里施設群のいずれかで入院、通院、入所、通所されている方

〈応募規定〉 ①書道(半紙1枚以内)
 ②絵画・ちぎり絵(4ツ切1枚以内)
 ③自由作品(陶芸・編み物・人形等)
 〈応募数〉 展示数に制限はありませんが、掲示場所に限りがありますので応募多数の場合は掲示できない可能性がありますので、予めご了承下さい。



作品展についてのお問い合わせは、ふれあいの里 作品展実行委員会までお願いします。

Tel 0743-65-1771 (奈良東病院 事務室:内線332・333)



編集後記

季節の移り変わりは早いもので10月に入り、今年も残すところ3ヶ月となりました。朝晩は非常に涼しく、肌寒く感じる日も多くなってきました。例年であれば残暑がまだ厳しいところですが、今年は比較的過ごしやす秋ではないでしょうか。

過ごしやす秋といえば、食欲の秋、読書の秋、芸術の秋など様々な表現がなされますが、皆様にとって最良の秋を楽しんでいただければと思います。また、寝苦しかった夏と違い、秋はしっかりと睡眠を取れる季節でもあります。健康のため、規則正しい生活と質の高い睡眠を

お取りください。

さて、上記にもありますように、今年も芸術の秋を代表する『ふれあいの里 秋の作品展』を開催いたします。皆様からのご応募、心よりお待ちしております。

これから秋から冬へと季節の変わり目となり、体調を崩しやすい時期となります。皆様におかれましては、手洗い・うがいなどの対策をしっかり行い、これから流行する感染予防に努めていただきますようお願いいたします。

(広報委員長 橋本 重之)

